

よくある質問

Q1
応募者が6名以上なので行を増やしても良いですか。

個人の応募者は、主に関わった6名に絞ってご応募ください。6名に絞れない場合、団体名で応募するか、本文中に謝辞として記載するなど工夫してください。

Q2
個人・団体どちらで応募したらいいですか。

表彰状及び副賞の記載は、個人の場合は所属及び氏名で、団体の場合は団体名になります。応募後の変更はできませんのでご注意ください。

Q3
要旨や本文が規定内に収まりません。どうしたらいいですか。

規定されたページ数や文字数に収めることも審査の対象です。簡潔に分かりやすくまとめてください。規定されたページ数や文字数を増やすことは認められません。

Q4
決裁の関係で締切日までに送れそうにありません。

応募者は、皆同じ条件で応募しています。公平性を保つため締切日を過ぎたものはお受けできません。応募作品の開発などの時期は問いませんので、例えば、次回のご応募をご検討ください。

Q5
応募作品が到着しているか教えてください。

応募作品の到着状況に関するお問い合わせには応じられません。応募作品の発送にあたり、例えば、発送記録や受領記録が残る形式をご利用ください。

Q6
間違いを発見しました。修正したいのですが。

受理した応募作品の差替えや修正はできません。誤字脱字などの間違いは、受賞の手続きにあたり、修正の機会があります。

Q7
消防職員ですが一般の部で応募できますか。

主たる応募者が一般の方であれば一般の部で応募できますが、該当しない場合は（嘱託などの非正規雇用の方も）消防の部でご応募ください。



Q8
他の募集に応募している作品ですが、重ねて応募しても大丈夫ですか。

大丈夫です。表紙にある「他の公募等への応募状況」欄にその旨を記入してください。

Q9
開発・改良、科学論文、原因調査事例、どの区分で応募すればよいですか。

どの区分で応募するかについては、ご自身で判断していただくようお勧めしています。対象の案件について、応募様式の本文に対し、区分の要件に応じて記載していくことが必要であり、要件に相応しい記載内容の場合、審査上の評価につながります。例えば、消防職員における原因調査事例においても、原因調査手法に係る考察が主な場合には「B. 消防防災科学論文」への応募が相応しいこともあります。
<参考>「応募要領」中、3.2 作品の区分や、4.2 評価のポイント、「記入例」。また、受賞事例として、消防研究センターホームページ掲載の「消防防災科学技術賞」を参照してください。

よくある間違い



- ・写真等の連番が本文と一致しない。
- ・CDの中に何も入っていない。
- ・古い様式を使用している（消防研究センターホームページよりダウンロード）。
- ・写真や図の注釈に用いられる「赤い線（矢印）」「青い線（矢印）」が、モノクロ印刷では区別がつかない。

作成にあたってのアドバイス（審査員コメントより）

消防防災機器等の開発・改良

- ・過去の受賞作品と良く似た作品が増えている。必ず過去の受賞作品を確認し、相違点を詳しく書くと良い。
- ・開発改良後の信頼性や安全性の客観的な評価（規格にあっているかなど）を行う。
- ・開発者、改良者の意見だけでなく、使用者の意見があると良い。
- ・仕様の詳細を記入し、検証を十分に行う。
- ・写真だけに頼らない（文章で動きや設定などをきちんと説明する）。
- ・過去に応募した作品の改良版の場合、前作品と違う点を明確に分かりやすく（どこがどう飛躍的に進歩したのかを）比較記述すると良い（過去に応募した作品と同一と思われる作品は受け付けない）。

消防防災科学論文

- ・論文として構成が整っているか確認する。
- ・論文として応募するより、開発・改良の部に応募する方が相応しい場合が多い。

原因調査事例

- ・メーカーから提出された図面等を使用する場合、本応募が目的外使用でないか、提供元の了解を得ているか等を確認し、その旨を記述すると良い。
- ・詳細に見分、観察を行っているものが増えている。末端のユーザーまで注意喚起が行えるような方策を取ると良い。
- ・データや詳細を十分に記載する（写真だけに頼らない）。
- ・検証実験をする場合、条件を整理し、図や表を用いて説明するなど読み手に分かりやすい工夫をする。

